

実証事業の概念（先進的な保健事業の実証）

1. 事業目的

健康度を可視化するポイントプログラムを開発し、行動変容に繋げる。

この為に、組合員全員が利用できる既存の健康管理ツール「ヘルスアップF@mi」にヘルスケアポイント機能を追加し、富士通グループの健康増進を図る仕組みづくりを目的とした「富士通健康増進マイルージプラン」を展開する。

～短期目標～※平成26年度に実証事業を行い検証

- (1) インセンティブ付与の有無による健康イベントへの参加率を比較する
- (2) 本事業実施による行動変容への効果を測定する

～中期目標～

- (3) 実証事業の課題を踏まえ効果的なインセンティブプログラムを検討する
- (4) 健診結果データの改善

～長期目標～

- (5) 生活習慣病関連医療費の抑制

2. 事業概要

「富士通健康増進マイルージプラン」運用のトライアルを当健保組合及び健康推進本部との協働により富士通沼津工場において実施した。

○実施時期：2013年11月～2014年10月

○対象者：富士通沼津工場に勤務する従業員約1,400名から希望者を募集

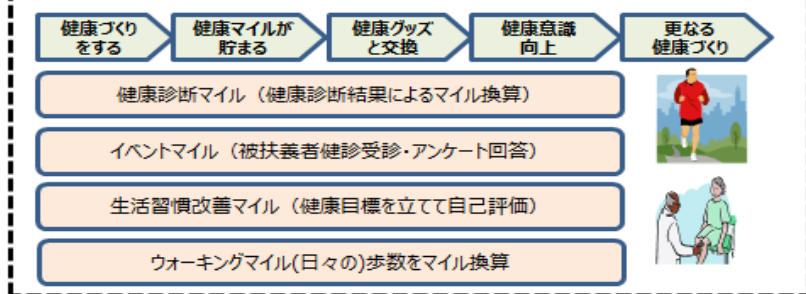
○ポイント取得の仕組み

健康目標の立案や日々の進捗入力、歩数等の健康情報登録や健康イベントへの参加、また健康診断結果の適正化（BMIの値を評価）や保健指導の受診等をポイント設定し付与。

○インセンティブの内容

事業に参加し、アンケートに回答した者全員の中から抽選で旅行券を贈呈（当選確率は獲得マイルージポイント数に連動）又、ポイント上位100名に記念品贈呈

【富士通健康増進マイルージプランの概要図】



3. 実施状況と評価結果、今後の展開

～実施状況と評価結果について～

トライアルの評価結果は以下の通り。

- ① インセンティブの活用により、健康イベントへの参加率が高まった
- ② 参加群の健康意識の高まりや行動変容への効果が確認できた
- ③ 健診結果の改善や医療費への効果は中長期での継続フォローが必要
- ④ スマートフォン等を活用し、システムの利便性を高める必要がある
- ⑤ 一部のヘビーユーザーのためだけのツールにならないよう、健診結果や医療費など、客観的な数値が根拠となって自動的に貯まるポイントの割合を増やす必要がある

《総括》

短期的目標である行動変容への効果は確認できた。より広く組合員向けに活用できる仕組み作りを目指すとともに、中長期で健診結果、医療費への効果をフォローする。また⑤で述べた、「健診結果の改善や医療費の多寡によるポイント取得の仕組み」を開発した。これを時期トライアルにおいて活用する予定である。

（参考）ポイントのウェイト付け検討資料

No	種別	ポイント数設定	人数	利用率	ポイント合計	ポイント占有率
1	ログイン	1	264	99.6%	9,149	2.0%
2	健診結果の登録	2	262	98.9%	796	0.2%
3	行動計画の設定	3	112	42.3%	336	0.1%
4	進捗管理入力	1	137	51.7%	19,626	4.3%
5	初回面接記録入力	10	30	11.3%	260	0.1%
6	中間自己評価入力	10	6	2.3%	60	0.0%
7	最終自己評価入力	20	16	6.0%	320	0.1%
8	最終評価確認	5	1	0.4%	5	0.0%
9	歩数	1～18 (歩数により増減)	91	34.3%	95,455	21.1%
10	歩数（ボーナスポイント） (1万歩以上)	3	91	34.3%	28,034	6.2%
11	健康計画実績入力	○…2 △…1	114	43.0%	210,027	46.4%
12	非喫煙者	100	243	91.7%	28,300	6.3%
13	禁煙達成者	500	5	1.9%	1,500	0.3%
14	食事バランスガイドの新規登録	1	51	19.2%	2,608	0.6%
15	エウロサイズ記録	20	81	30.6%	17,020	3.8%
16	BMI減少ポイント	25～100	51	19.2%	1,150	0.3%
17	BMI維持ポイント	100	168	63.4%	21,500	4.8%
18	BMI増加ポイント	25～100	12	4.5%	425	0.1%
19	配偶者健診受診ポイント	100	78	29.4%	7,800	1.7%
20	婦人科健診受診ポイント	100	73	27.5%	7,100	1.6%
21	睡眠セミナー出席	20	52	19.6%	1,040	0.2%

～トライアル事業の課題を踏まえた今後の展開～

事業のインフラとなるシステムの利便性をスマートフォン等のデバイスを活用する事で改善する。また健診結果の改善や医療費の抑制をポイントとして反映したり、健保組合として推進したい事業への参加をポイント化する事で、システムの利用だけでなく、健康増進活動への取り組みが自動的にポイント化される仕組みにバージョンアップを行い、グループ会社数社において再トライアルを実施する。